

イヌワシ研究会映画上映

2月11日(土)、生野メインホールで県自然保護協会と日本イヌワシ研究会兵庫地区の企画により、イヌワシの生態を描いた映画「イヌワシ 風の砦」の上映が行われました。

民間会社が風力発電施設の建設を計画している朝来市と宍粟市にまたがる段ヶ峰に国の天然記念物で、絶滅危惧種のイヌワシが生息することが確認されたことから、自然との共生を考えようと開催されたもので、市内外から約150人が集まりました。

映画はイヌワシの狩の様子や抱卵、子育ての様子を紹介。上映後には、質疑応答が行われ、参加者から繁殖率が低下した理由や共存の考えが考えられないかなどの質問がされました。



山東の冬を楽しむ集い

1月28日(土)〜29日(日)、山東の冬を楽しむ集いが西宮市立山東自然の家で行われ、西宮市から親子づれら47人が参加しました。

この集いは都市部の西宮市では体験できない、自然との触れ合いを楽しんでもらい、朝来市と西宮市の交流の輪を広げる目的で、毎年開催されているものです。

参加した子ども達は雪が多く残る中、雪だるまやかまくらを作ったり、そり遊びなどをして楽しいひと時を過ごしました。中には本格的な雪遊びが初めての子どももあり、夢中で雪の感触を楽しんでいました。

また、29日には餅つきも行われ、子どもたちは杵を重そうに持ちながら一生懸命餅をついていました。



わんぱく教室木工クラフト体験

2月18日(土)、朝来公民館講座「わんぱく教室」の子どもたちが、朝来木工加工所で木工クラフトと椎茸の植菌を体験しました。

この日の教室に参加したのは中川、山口小学校の5・6年生の28人。先月の教室で、さのう高原で自分たちが間伐をした木材を使い、ポランティアの方の指導を受けながらノコギリや小刀を上手に使い、看板や動物の置物作りに挑戦しました。

また、椎茸の植菌では、コナラの木の原木に一定の間隔をおいて、電動ドリルで穴をあけ、椎茸菌の付いた駒菌を打ち込んでいきました。一年半ほどで椎茸が生えるようになるとの説明を受け、それぞれ自分で植菌した木を持ち帰りました。

